

文部科学省 私立大学学術研究高度化推進・社会連携研究事業

認知症国際フォーラム

ひとりで悩まない認知症～予防・診断・治療と理想の街ぐるみネットワーク～

代表：川並 汪一

（“認知症街ぐるみ支援ネットワーク”代表、日本医科大学老人病研究所・所長、社団法人老人病研究会・会長）

プログラム

日時

2008年12月21日(日)

午前の部／開演 **9：30** ～ 終演 **12：00** (予定)

午後の部／開演 **13：00** ～ 終演 **16：30** (予定)

場所

東京国際フォーラム ホールB7

主催：認知症国際フォーラム推進委員会

日本医科大学老人病研究所、川崎市、学校法人日本医科大学、社団法人老人病研究会

後援：

NHK、朝日新聞社、(社)日本医師会、(財)長寿科学振興財団、日本認知症学会、
日本認知症ケア学会、(社)日本老年医学会、(社)日本精神神経学会、
日本老年精神医学会、(社)日本リハビリテーション医学会、
日本総合病院精神医学会(JSGHP)、(社)日本精神科病院協会、
(社)日本精神神経科診療所協会、
(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所、
(社)福)浴風会、認知症介護研究・研修東京センター、
(社)認知症の人と家族の会、(社)全国老人保健施設協会、日本臨床心理士会、
アルツハイマー病研究会、NPO法人日中健康科学会、(財)川崎市産業振興財団、
川崎市福祉サービス協議会、神奈川新聞社

プログラム 午前の部【認知症の診断と治療の最

09:30 ~ 開 会 挨 拶

学校法人日本医科大学理事長 赫 彰郎
日本医科大学学長 田尻 孝

09:40 ~ ガイダンス

認知症の早期発見と予防の最前線について



川並 汪一 (日本医科大学老人病研究所・所長)
(社団法人老人病研究会・会長)
田村あゆち (フリーアナウンサー)

10:00 ~ 早期発見

脳波解析で安全な定期検診を実現する



武者 利光 (株式会社脳機能研究所・代表取締役社長)

10:30 ~ 早期診断

発症前診断の道を拓くアミロイドイメージング



石井 賢二 先生 (財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団
東京都老人総合研究所附属診療所・所長)

11:00 ~ 治 療

根治予防をめざすワクチンの現在



田平 武 (国立長寿医療センター研究所・所長)

11:30 ~ 予 防

老化を防止する水素分子の可能性



太田 成男 (日本医科大学老人病研究所・教授)
大澤 郁朗 (日本医科大学老人病研究所・教授)

新情報】(9:30~12:00)

かつて認知症は、何の手立てもない「絶望の病」として恐れられてきました。しかしいま、認知症は医療や介護、地域の支えによって適切にケアすることで、残された力を維持し自分らしく暮らしていくことも可能な時代になってきています。認知症の原因疾患として半数を占めるアルツハイマー病に対しては進行を遅らせる薬が処方され、その効果が認められています。徘徊や妄想など様々な症状についても、適切な環境や対応の方法、薬のコントロールによって大部分が緩和されることがわかりました。さらに現在、医療は「早期発見」「早期診断」「治療」「予防」の各局面で、より大きな効果が期待できる新たな手立てを生みつつあります。午前の部では、研究現場の最前線から最新の情報をお伝えし、認知症医療の新たな地平を概観していきます。

適切な脳リハビリを行うと、脳の神経細胞であるニューロンを活性化させることが脳波解析によって明らかになってきました。「脳機能活性度計測法DIMENSION」は、5分間の脳波計測で得たデータをコンピュータで解析し脳機能検査を行うシステムです。国立精神神経センター武蔵病院との共同研究によってアルツハイマー病患者の脳波を測定し健常者の脳波との相違を定量化、継続的な検査を続けた結果、投薬やリハビリ療法によって脳機能が改善されることが確認されました。このDIMENSIONによって認知症の早期発見を行い、その後のリハビリをモニタリングしていくことで、認知症ケアの最適化に寄与できると考えています。

近年の研究で、アルツハイマー病は「アミロイドβ（ベータ）」という物質が脳に蓄積することで引き起こされることが明らかになってきました。このアミロイドβは、認知症の発症から10~20年前にさかのぼって蓄積し始めることが分かっており、その蓄積状況を「アミロイドイメージング」と呼ばれる新しい検査技術によって画像診断できるようになりました。

これまでも様々な画像診断技術がありましたが、アミロイドイメージングによって発症前に診断することが可能になり、将来登場するであろう根本治療につなげることで、アルツハイマー病のない社会を実現することも夢ではなくなってきました。現在は研究の最終段階で、近い将来実用化する見通しになっています。

アルツハイマー病の根治療法として期待されたワクチンの研究は1999年にアメリカで始まりましたが、臨床試験で脳炎の副作用を起こす患者が約6%現れ、2002年に中止されました。しかし、治験にエントリーした患者のフォローアップは続けられ、3年後には認知機能の低下が穏やかになった例も報告されました。国立長寿医療センター研究所では、アメリカのワクチンとはアプローチが異なる「経口ワクチン」を開発し、マウスや老齢サルへのテストを重ねてきました。その結果、副作用は起こらず、マウスでは認知機能の改善が確認されています。今後さらに多数のマウス、ラットで安全性を確認し、ヒトへの治験で安全性が確認できれば、根治予防薬として5~10年後に実用化できるものと考えています。

認知症の要因のひとつに老化があげられますが、老化には活性酸素による「酸化ストレス」の蓄積が大きく関わっています。マウス実験では、酸化ストレスで脳の神経細胞が変成し、認知記憶能力が低下することが分かっています。日本医科大学老人病研究所では、老化の原因となる活性酸素を「水素ガス」によって除去する研究を進めてきました。その結果、水素が酸化ストレスを防ぎ、脳を始めとする様々な臓器で虚血再還流障害を抑制することがマウス実験で確認されています。水素ガスを体内に採り入れる方法として水素水の有効性も実験し、マウスの認知記憶能力の低下が抑制されることがわかりました。ヒトの認知機能低下に有効かは今後の研究ですが、可能性は高いと考えています。

プログラム 午後の部【市民による街ぐるみ認知症ケア】

13:00～ 開会挨拶

川崎市市長 阿部 孝夫

社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修センター 長谷川和夫

13:10～ ガイダンス



街ぐるみ認知症ケアについて

本間 昭 (東京都老人総合研究所・研究部長、認知症ケア学会・理事長)

宮川 泰夫 (フリーアナウンサー)

13:20～



ひとりで悩まない！
市民のための街ぐるみ認知症相談センター (川崎市)

北村 伸 (日本医科大学武蔵小杉病院内科・准教授)

13:40～



となり近所で支え合う！人に優しいまちづくり
劇団SOS公演 (川崎市)

柿沼 矩子 (川崎市認知症ネットワーク・代表)

14:00～



認知症になってもだいじょうぶ！
徘徊模擬訓練と絵本教室 (福岡県大牟田市)

大谷るみ子

(社会福祉法人東翔会グループホームふぁみりえ・ホーム長、大牟田市認知症ケア研究会・代表)

パネルディスカッション

15:10～



高齢者医療を社会全体で支える (スウェーデン)

Wilhelmina Hoffman (シルビアホーム・所長)

15:30～



家族的な共同生活で支えるフォスターケアプログラム (ベルギー)

Lieve Van de Walle (ヘールOPZリハビリテーション・主任)

パネルディスカッション

16:15～ Q & A

(13:00~16:30 ※休憩20分間)

認知症の最新医療の研究に期待が高まるなか、私たちを取り巻く環境をみると、十分といえるものは未だないというのが現状です。現在、65歳以上の13人に1人、205万人の人が認知症と言われ、その数は毎年10万人のペースで増加。2035年には445万人にまで達するという試算も出されています。社会保障の整備が遅れ根治薬がないなかで、認知症と診断された人々をどのように支えていくか。認知症の人と家族が、これまでどおり住み慣れた街で自分らしく暮らしていくために、医療・介護などの専門職、行政、ボランティア、地域の人々が一体となって、街ぐるみで認知症ケアに取り組むことが急務となっています。午後の部では、街ぐるみケアに取り組む内外の先駆者からその活動を報告。課題を整理し、今後の展望についてディスカッションしていきます。

日本医科大学老人病研究所は2007年12月に「街ぐるみ認知症相談センター」を開設し、認知症の医療と介護のネットワーク拠点として活動しています。センターでは早期発見の取り組みとしてタッチパネルや脳波の測定を無料で実施。これまでおよそ450人の方が訪れ、3割近くの方にもの忘れが疑われました。もの忘れが疑われた場合には常駐の臨床心理士が検査を進め、診断や治療のためにかかりつけ医や専門医に連携する体制を築いています。さらにセンターでは、患者や家族の方が悩みを抱え込んでしまわないよう、地域包括支援センター、ボランティアグループ「川崎市認知症ネットワーク」、老人会などと連携し、認知症でも安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。

川崎市には、市内の各区に認知症の人と家族を支えるボランティアグループや家族会があり、地域の暮らしに根付いた独自の支援活動を展開しています。個々のユニークな活動は「川崎市認知症ネットワーク」として横断的に連携を図っていますが、そのなかで認知症の啓発活動として取り組んでいるのが「劇団SOS」です。「劇団SOS」は、介護教室や地域のイベントに“出前形式”で出向き、認知症の人や家族を地域で支える重要性、ひとりで抱え込まず周囲に支援を求める大切さを、素人役者のユーモアある寸劇で伝えてきました。市民一人ひとりのさりげない支援が自然に生まれる街を創ることが、最大の認知症ケアであると考えています。

福岡県大牟田市は高齢化率28%を超え、日本の10年後の未来と言われています。認知症ケアを街ぐるみで進める必要性から、平成13年に5つの提言―①向こう三軒両隣の身近なネットワークの構築②公民館や民生委員、地域資源の活用③認知症を恥じず、隠さず、見守る意識を高める④行政と地域の連携、認知症支援の推進者の育成⑤子どもの時から学ぶ、触れる機会を作る―が生まれ、市民が集う「日曜茶話会」、小中学校への「出前絵本教室」、街ぐるみの「徘徊模擬訓練」などユニークな活動を展開してきました。認知症になっても誰もがいつまでも、自分らしく安心して暮らしていける街づくりを続けていきたいと思います。

スウェーデンでは開業医の診療や入院治療など、ほとんどの医療や社会事業を国が負担しています。高税率ですが、社会全体で高齢者を支えるべきだという考え方が浸透しています。スウェーデンでは約15万人が認知症を患っており年々増加傾向にありますが、認知症ケアのシステムは過渡期にあり、開業医の経験不足、限定された家族支援など各国と同じ問題に直面しています。こうしたなか今年2月に国立認知症支援センターが設立され、認知症ケアの方法を地域に広める取り組みが始まりました。センターでは、バリデーションや回想法など、先進的なケアを実践してきたシルビアホームの緩和ケアの普及を全国的に進めています。

ベルギーの人口は約1,100万人、東京とほぼ同じ規模の国です。ブリュッセル地方にある都市ヘルは、WHOの報告書が「最も伝統あるコミュニティ型精神衛生プログラムが実施される」町と紹介しているように、古くから精神を患った人や高齢者への手厚いコミュニティケアを実践してきました。その中心となっているのが国立精神病院ヘルOPZが展開するフォスターケア・プログラムです。これは、受け入れ家族（フォスターペアレント）の家に患者が入居し家族の一員として生活するもので、医療や介護の専門家が支援をします。患者一人ひとりの尊厳を守りながら、自分らしい暮らしを実現する取り組みが続けられています。

memo

memo

memo

後援

NHK
朝日新聞社
(社)日本医師会
(財)長寿科学振興財団
日本認知症学会
日本認知症ケア学会
(社)日本老年医学会
(社)日本精神神経学会
日本老年精神医学会
(社)日本リハビリテーション医学会
日本総合病院精神医学会(JSGHP)
(社)日本精神科病院協会
(社)日本精神神経科診療所協会
(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所
(社)福)浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
(社)認知症の人と家族の会
(社)全国老人保健施設協会
日本臨床心理士会
アルツハイマー病研究会
NPO法人日中健康科学会
(財)川崎市産業振興財団
川崎市福祉サービス協議会
神奈川新聞社

協賛

エーザイ株式会社
株式会社 ブルー・マーキュリー

助成

日本医科大学同窓会
日本医科大学医学会
医療法人社団 尚篤会 赤心堂病院

「精神科医療の真のパートナー」を 目指して

精神科領域に特化した企業としての専門性を高めていくとともに
ペイシェント・オリエンテッドの企業活動を推進してまいります。



吉富薬品株式会社

大阪府中央区淡路町2-5-6

<http://www.yoshitomi.jp/>



人間ドックと温泉保養 奥利根の豊かな自然とのふれあい

宿泊は個室制となっておりますので
ごゆっくりお休みいただけます。

医療法人 高德会

上牧温泉病院

〒379-1311 群馬県利根郡みなかみ町石倉198-2
TEL.0278-72-5858(代表) FAX.0278-72-5857



温水プール



回ビ一

実感！目覚めの水。



水素の
研究成果が
世界的医学系雑誌
「ネイチャー・メデシ」
に掲載！

水素の研究成果が、 世界医学系雑誌に掲載！

研究によると水素は、宇宙で一番小さい分子であり、水と油のどちらでも入り込む事が出来る物質であるため、隅々の細胞レベルまで行き渡る安全で理想的な物質なのです。

カラダに近い「中性域」のおいしい水。

美肌師 佐伯チズさんもお愛飲の、山口県錦川水系のカラダに近い中性域の天然水に、独自の技術で気体である水素分子をたっぷり溶かし込んだおいしい水。

水素パワーがたっぷり。

「気体」である「水素」は、プラスチック等では、通過しやすい為、専用のアルミパウチ容器で、水素パワーを閉じ込めており、キレイと健康をサポートします。



こんな方に…



スポーツの後に



ストレスを
感じる時に



ヒューマンエイジング
関心の高い方に

水素 たっぷりのおいしい水

〔価格〕 **5,250円** (税・送料込み)

内容量 300ml × 20本

お得な
定期
購入

お客様の希望のお届け日にお届けします。

4,000円 (税込み 送料別)

●3回以上継続が条件となります。

通常価格より
23%OFF

■お電話でのお申し込み(携帯電話からもお申し込みできます)
(受付時間 9:00~17:30/土・日・祝日を除く)

0120-32-8345

■インターネットでのお申し込み(24時間受付・年中無休)

<http://www.melodianhf.com>

携帯電話からのお申し込みはこちら▶



株式会社メロディアンハーモニーファイン

〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘1丁目33番地 e-mail:info@melodianhf.com

健康に役立つことに、ワクワクしています。

みなさんの健康のために、
いま、薬にできることを見つめて。
万有製薬は、病気になったときの
ための治療薬の開発はもちろん、
これからの健康開発を考えた予防医療にも
前向きに取り組んでいます。

万有製薬株式会社
<http://www.banyu.co.jp/>

虚弱な体質で 神経がたかぶるものの 神経症、不眠症に

54 ヨクカンサン
ツムラ抑肝散
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

【文献】 1) Iwasaki, K. et al. J. Clin. Psychiatry. 66 (2), 248 (2005) 2) 伊東宏昌ほか、日本薬学会、(2006) 玉野春南ほか、日本薬学会、(2007)
3) 石橋歩美ほか、薬学雑誌、126 (2), 82 (2006) 藤原道弘ほか、日本老年医学会学術集会、(2006)

効能又は効果
虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：
神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症

用法及び用量
通常、成人 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

使用上の注意(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1) 著しく胃腸の虚弱な患者 (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者 2. 重要な基本的注意 (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。 (2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。 (3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等：カンゾウ含有製剤、グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤

4. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。 (1) 重大な副作用 1) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。 2) ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

*その他の使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

株式会社ツムラ

<http://www.tsumura.co.jp/>

●資料請求・お問い合わせは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。 ☎ 0120-329-970

(2007年9月制作)

■使用上の注意等の改訂には十分ご留意下さい。 FW-0541 (関)



心ふるわせる芸術

臨床美術は独自のカリキュラムに沿って創作活動を行うことで、認知症の改善・予防を目的とします。



臨床美術参考作品 「風の抽象表現」

日本臨床美術協会

日本臨床美術協会は、高齢者やその家族、子ども達をはじめ多くの方々が 臨床美術を通して人生の喜びを享受できる健康で感性豊かな社会の創出を目的として設立されました。

- 臨床美術が作る未来を提案しています。
臨床美術の普及／臨床美術の知識・情報の提供
- 臨床美術士の育成を支援しています。
臨床美術士の認定／臨床美術士の紹介
臨床美術士のスキルアップを支援

内閣府認証/特定非営利活動法人 **日本臨床美術協会**
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル
TEL 03-5282-0226 FAX 03-5282-0231
<http://www.arttherapy.gr.jp/>

臨床美術士養成講座

優秀な臨床美術士を養成するための充実したカリキュラムが用意されています。ひとりひとりに質の高いスキルを伝えていくことをモットーに、各分野で活躍する講師陣が丁寧に指導いたします。

- 臨床美術関連事業
- 臨床美術士養成事業
- 美術関連用品の開発・販売事業

株式会社 **芸術造形研究所**
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル
TEL 03-5282-0210 FAX 03-5282-7307
<http://www.zoukei.co.jp/>



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka

大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-9



美しい、永遠。
誕生、「おいしい水素水」



Beautiful eternity
The birth of "Oishii Hydrogen Water"

おいしい水素水は、酸化還元電位 $-300\text{mV} \sim -500\text{mV}$ 。

還元力を飛躍的に高めたお水です。

ブルー・マーキュリー社、独自の水素含有技術によって多くの水素をお水に含有させました。
体の中から水素を実感して下さい。

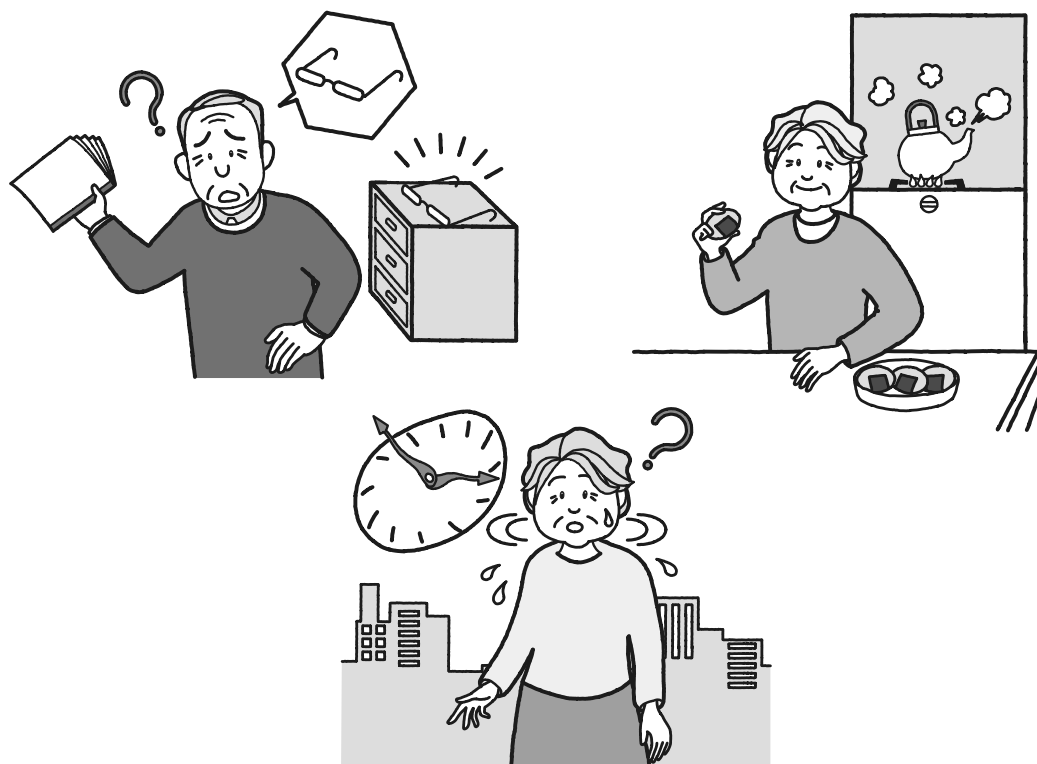
**Blue
Mercury**

株式会社ブルー・マーキュリー
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-9-6・吉半八重洲通りビル 5F
注文専用窓口 ☎ : 0120-085-213
携帯・一般電話 : 03-3552-2756
<http://www.bluemercury.co.jp/>

おいしい水素水 販売

受付時間：平日 9:00～17:30（土、日曜日、祝日を除く）FAXは24時間受け付けております。FAXでの資料請求の際は、住所、会社名、担当部署、担当者、電話番号を明記して下さい。

気づいてあげてください。



認知症を疑う日常生活の変化

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ① 何度も同じことを言う、聞く。 | ② 大切な物をなくしたり、置き忘れたりする。 |
| ③ 火の消し忘れ、ガス栓の締め忘れ。 | ④ 今、何時頃か、どこにいるのか見当がつかない。 |
| ⑤ 簡単な計算の間違いが多くなった。 | ⑥ 今まで好きだった物に対して興味・関心がなくなった。 |



ひょっとしたら と思ったら、 相談にでかけませんか。

もしかして、「認知症」？ 高齢化が進み、あなたの大切な人が、アルツハイマー病をはじめとする「認知症」になっても不思議ではない時代が訪れています。もの忘れをはじめとする症状に、ご家族の方が気づいたら、そのまま放置せずに、早めに診察のドアを開いてみてください。今日では、アルツハイマー病は、治療できる病気であり、治療によっては症状の進行を遅らせることもできる病気なのです。早めに相談することで、症状の進行具合の確認や対処の仕方、さらには介護などの情報を得て、ご本人を含めて、ご家族みんなで「認知症」に向かい合い、心配や精神的ストレスを軽くしていくことができます。私たちエーザイとファイザーは、製薬会社として「認知症になっても安心して暮らせる社会」へのサポートを続けます。